

## 自然災害発生時における業務継続計画

法人名	合同会社 Becoming	種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援(宮島・鍋倉) <input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援(宮島) <input type="checkbox"/> 放課後デイサービス(鍋倉) <input type="checkbox"/> Becoming 相談支援
代表者	福田 浩	管理者	福田 浩
所在地	始良市鍋倉 162	電話番号	0995-56-8992
所在地	始良市宮島 31-5	電話番号	0995-56-8256
所在地	始良市東餅田 397-3 プライムサイド B	電場番号	090-9820-3057

## 目次

<b>1. 総論</b> .....	
(1) 基本方針.....	1
(2) 推進体制.....	1
(3) リスクの把握.....	1
① ハザードマップなどの確認.....	1
② 被災想定.....	1
(4) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し.....	2
① 研修・訓練の実施.....	2
② BCPの検証・見直し.....	3
<b>2. 平常時の対応</b> .....	<b>3</b>
(1) 建物・設備の安全対策.....	3
① 人が常駐する場所の耐震措置.....	3
② 設備の耐震措置.....	3
③ 水害対策.....	4
(2) 電気が止まった場合の対策.....	4
(3) ガスが止まった場合の対策.....	4
(4) 水道が止まった場合の対策.....	5
① 飲料水.....	5
② 生活用水.....	5
(5) 通信が麻痺した場合の対策.....	5
(6) システムが停止した場合の対策.....	5
(7) 衛生面（トイレ等）の対策.....	5
① トイレ対策.....	5
② 汚物対策.....	5
(8) 必要品の備蓄.....	6
(9) 資金手当て.....	7
<b>3. 緊急時の対応</b> .....	<b>8</b>
(1) BCP発動基準.....	6
(2) 行動基準.....	6
(3) 対応体制.....	7
(4) 対応拠点.....	7
(5) 安否確認.....	7
① 利用者の安否確認.....	7
② 職員の安否確認.....	7
(6) 職員の参集基準.....	8
(7) 施設内外での避難場所・避難方法.....	8

(8) 重要業務の継続.....	9
(9) 職員の管理(ケア).....	9
① 休憩・宿泊場所.....	9
② 勤務シフト.....	9
(10) 復旧対応.....	10
① 破損個所の確認.....	10
② 業者連絡先一覧の整備.....	10
③ 情報発信(関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応).....	10
<b>4. 他施設との連携.....</b>	<b>10</b>
(1) 連携体制の構築.....	10
① 連携先との協議.....	10
② 連携協定書の締結.....	11
③ 地域のネットワーク等の構築・参画.....	11
(2) 連携対応.....	11
① 事前準備.....	11
② 利用者情報の整理.....	12
③ 共同訓練.....	12
<b>5. 地域との連携.....</b>	<b>12</b>
(1) 被災時の職員の派遣.....	12
(2) 福祉避難所の運営.....	12
① 福祉避難所の指定.....	12
② 福祉避難所開設の事前準備.....	12
<b>6. 通所系・固有事項.....</b>	<b>13</b>
<b>7. 訪問系・固有事項.....</b>	<b>13</b>
<b>8. 相談支援事業・固有事項.....</b>	<b>13</b>
<b>&lt;更新履歴&gt;.....</b>	<b>14</b>
【様式①】備蓄品リスト.....	15
【様式②】利用者の安否確認シート.....	18
【様式③】職員の安否確認シート.....	17
【様式④】建物・設備の被害点検シート.....	18

## 1. 総論

### (1) 基本方針

本計画は、大地震等の自然災害や感染症のまん延などをはじめとした突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断せざるを得なくなった場合であっても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示すものである。

### (2) 推進体制

平常時の災害対策の推進体制

主な役割	部署・役職	氏名	補足
責任者（統括責任者）	災害対策委員長	福田 浩	
BCPの策定及び見直し	BCP策定責任者	福田 梨香	
職員への研修・訓練の計画	研修・訓練責任者	御園 真由	
備蓄品管理・メンテナンス	備蓄管理	藤浪かおり	

### (3) リスクの把握

#### ① ハザードマップなどの確認

別紙参照

- ① 始良市海拔マップ
- ② 鍋倉池ハザードマップ ・ 浸水深マップ
- ③ 始良市液状化危険度マップ
- ④ 始良市直下型地震想定震度マップ  
地域3 地域6

#### ② 被災想定

【自治体公表の被災想定】

##### 交通被害

道路：

- 一般道は、揺れによって約10カ所で不通となる。また、沿岸部では、津波の影響で一部の道路が不通となる
- 高速道路は、被災と点検のため通行止め

##### ライフライン

上水：

- 管路や浄水場などの被災が発生し、始良・伊佐地域の断水人口は、2030人。  
そのほとんどが始良市で発生

下水：

□管路やポンプ場、処理場などの被災や運転停止により、始良・伊佐地域の機能支障の影響人口は約50人となる

電力：

□揺れや津波浸水によって、電柱（電線）や変電所、送電線（鉄塔）の被害などが発生し、始良・伊佐地域の各市町の停電件数は数軒

通信：

□各市町の固定電話の回線が不通

□停電の影響による携帯電話の基地局が停波し、各市町のいくつかの局が停波する

□通信ネットワークが機能するエリアでも、体調のアクセスにより輻輳が発生し、音声通信やデータ通信がつながりにくくなる

#### 【自施設で想定される影響】

	当日	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	6 日 目	7 日 目	8 日 目	9 日 目
電力	使用不可	→	復旧	→	→	→	→	→	→
飲料水	備蓄	→	配給						
生活用水	配給と復旧を待つ（トイレは、備蓄しているものなどを利用）								
携帯電話	復旧待ち								
メール	復旧待ち								

#### （4）研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

##### ① 研修・訓練の実施

□訓練の本心と概要について

事業所での避難は、施設利用時の被災を想定

下記3に掲げる「緊急時の対応」に沿って、訓練を実施する。

年1回 利用児童の生命の安全を最優先し、訓練実施

消火訓練及び避難訓練(年2回)

(3月・8月予定)

年1回 研修実施

年1回 利用児童の生命の安全を最優先し、訓練実施

##### ② BCPの検証・見直し

業務継続計画（BCP）は、年1回実施する研修及び年1回実施する訓練実施後、

災害対策委員（Becomin スタッフ）で協議し、見直しを行う。

災害対策委員会は、業務継続計画（BCP）について、Becoming スタッフで協議し、必要があればBCPの見直しを行い、利用児の安全確保に努める。

## 2. 平常時の対応

### (1) 建物・設備の安全対策

#### ① 人が常駐する場所の耐震措置

場所	対応策	備考
Becoming（宮島）	日常点検を実施	
Becoming（鍋倉）	日常点検を実施	

#### ② 設備の耐震措置

対象	対応策	備考
棚など	転倒防止対策・設置の確認	
消火器等の設備	設備点検と設置場所の確認	
避難経路の確保	必要に応じて飛散防止フィルムなども検討	

#### ③ 水害対策

対象	対応策	備考
事業所周辺	浸水の危険性をハザードマップで定期的に確認情報収集	毎月1回点検
建物周辺	外壁等のひび割れや欠損等を定期的に確認	毎月1回点検
暴風	建物の外周や危険性のある箇所がないかを定期的に確認	毎月1回点検

### (2) 電気が止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と自家発電機もしくは代替策を記載する。

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
情報機器・PC	バッテリー充電器の用意
冷蔵庫	保冷剤等を用意
照明機器	懐中電灯・乾電池を用意
暖房機器	毛布・カイロ

### (3) ガスが止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と代替策を記載する。

稼働させるべき設備	代替策
Becoming（宮島）	なし
Becoming（鍋倉）	調理に必要な分はガスコンロで対応

(4) 水道が止まった場合の対策

① 飲料水

2 ㍓×1 日分 (10 本) の飲料水を確保  
※保存期間に留意

② 生活用水

水道水 2 ㍓ペットボトル×10 本を確保  
※手洗いとトイレ洗浄および雑巾洗いなどに使用  
※井戸水利用

(5) 通信が麻痺した場合の対策

携帯電話／携帯メール／PCメール／SNS等

復旧作業を待つ対応  
事業所のスマホ 2 台  
職員全員のスマホ(全員 LINE 可・グループLINE あり)  
手回しバッテリー 1 台

(6) システムが停止した場合の対策

ノート PC の電源確保・充電が最優先  
※システム復旧が遅れている場合は、手書きなどで状況を記載  
※データの喪失に備えて定期的にバックアップを行う

(7) 衛生面 (トイレ等) の対策

① トイレ対策

【利用児・利用者】

断水している場合

・簡易トイレ及び消臭固形剤を備蓄

電気。水道が止まった場合

・簡易トイレを所定の箇所に設置 (案内)

・汚物には消臭固形剤を使用する (燃えるゴミとして処理可能)

【Becoming スタッフ】

職員の簡易トイレ・生理用品を備蓄しておく

他、利用者に準ずる

② 汚物対策

衛生面を考慮し、建物外部に保管  
消臭固形時剤を使用した汚物は、燃えるゴミとして処理

(8) 必要品の備蓄 (別様式記載)

【資金手当て】

損害保険

加入会社

緊急時資金

各事業所に一定金預ける

### 3. 緊急時の対応

#### (1) BCP発動基準

<p><b>【地震による発動基準】</b>          始良市周辺において、震度6以上の地震が発生          被災状況や社会的混乱などを総合的に勘案し、代表が必要と判断した場合、          代表の指示によりBCPを発動し、対策本部を設置する</p> <p><b>【水害による発動基準】</b>          大雨警報（土砂災害）・香水警報が発表された時          台風により、高潮注意報が発表された時</p>
---

Becoming 代表	代替者 各事業所管理者	福田 梨香
-------------	----------------	-------

#### (2) 行動基準

発災時の個人の行動基準を記載する。

<p>①利用児と自分の生命を守る行動をこころがける          ②二次災害への対策（火災や建物の倒壊など）          ③地域との連携・関係機関との連携          ④情報発信</p> <p>平常時：日常点検 訓練/見直し          情報交換 情報共有</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>直後：命を守る行動(安全確保・避難)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>当日：二次災害対策（避難場所の確保等）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>体制確保後： ↓          事業再開</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>体制回復後：通常営業・業務</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>完全復旧後：評価・反省・見直し</p> <p><b>【連携】</b> 事業所間連携・行政・関係機関連携  <b>【情報発信】</b> 利用者家族安否情報・事業所情報  <b>【支援体制確保】</b> 人員・物資等</p>
--

### (3) 対応体制

#### 【地震防災活動隊】

管理者：実施全般について一斉の指揮を行う

#### 【情報班】

行政と連絡をとり、正確な情報の入手に努めるとともに適切な指示を仰ぎ、管理者に報告するとともに、利用家族へ状況を報告する。(活動記録をとる)

#### 【消火班】

地震発生直後、直ちに火元の点検・発火の防止に万全を期すとともに、発火の際には消火に努める

#### 【応急物資班】

食料・飲料水の確保に努めるとともに、飲料水等の配布を行う

#### 【安全指導班】

利用児の安全確保・事業所設備の損傷を確保し報告する。管理者の指示がある場合は、利用児の避難誘導を行う。家族の引継ぎを行う。

#### 【救護班】

負傷者の救出・応急手当及び病院などへの搬送を行う

#### 【地域班】

地域住民や近隣の施設と共同した救護活動・ボランティア受け入れ体制の整備対応を行う

### (4) 対応拠点

緊急時対応体制の拠点となる候補場所を記載する(安全かつ機能性の高い場所に設置する)。

第1候補場所	第2候補場所	第3候補場所
ハーフアステップ Becoming (鍋倉)		

### (5) 安否確認

#### ① 利用者の安否確認

##### 【安否確認ルール】

震災発生時は、電話・SNS等で、利用者の安否確認を行う

利用者氏名・安否確認の様態・状況を確認し記録する

##### 【医療機関への搬送方法】

医療機関連絡後、Becomingの所有する車で搬送(医療に判断を仰ぐ)

#### ② 職員の安否確認

##### 【施設内】

職員の安否確認は、利用児の安否確認と合わせて、スタッフ間で点呼を行い、代表に報告する

【自宅等】

自宅等で被災した場合、(地域震度5以上)は、

①電話 ②携帯メール(LINE) ③災害用伝言ダイヤルで、代表(スタッフLINEグループ等)に地震の安情報を報告する

報告する事項:地震・家族の無事・出勤可否を確認する

氏名・安否確認・自宅の状況・出勤可否を記録する

(6) 職員の参集基準

1.震度強以上の揺れが発生した場合、スタッフから事業所に連絡を取り、30分以上連絡が取れない場合は、安全を確保しながら参集する

2.自ら又は家族が被災した場合や交通機関・道路などの事情で参集が難しい場合は、参集しなくてもよい

(7) 施設内外での避難場所・避難方法

【施設内】

	第1避難場所	第2避難場所
避難場所	玄関を出たスペース	
避難方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用児がいる場合は、安全に留意しながら利用児の誘導を行う</li><li>・避難場所を大声で周知しながら、集合する</li><li>・天井からの落下物に留意する</li><li>・避難時も極力、靴を履く</li></ul>	

【施設外】

	第1避難場所	第2避難場所
避難場所	始良公民館・帖佐小学校・若葉学園	
避難方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・避難時は靴を履く</li><li>・利用児がいる場合は、安全に留意しながら利用児の誘導を行う</li><li>・車や落下物に注意する</li><li>・避難にあたっては、事業者内に残された人がいないか、大声で確認し避難する</li></ul>	

(8) 重要業務の継続

経過目安	発生後 6 時間	発災後 1 日	発災後 3 日	発災後 7 日
職員数	出勤率 40%	出勤率 70%	出勤率 60%	出勤率 80%
在庫量	100%	80%	60%	正常
重要業務 の基準	利用児・スタッフ の安全確認・安全 な引き渡し	安全と生命を守るため 必要最低限 (待機児童がいる場合)	一時閉所・利用次元 とするが、通常に近 づける	ほぼ通常通り
食事支援 水分補給	おやつ準備 飲料水準備	おやつ準備 飲用水準備	おやつ準備 飲用水準備	ほぼ通常通り
その他		整理・清拭	整理・清拭	

(9) 職員の管理(ケア)

① 休憩・宿泊場所

休憩場所	宿泊場所
各事業所	業務上、必要なし

② 勤務シフト

<p>【災害時の勤務シフト原則】</p> <p>職員の体調及び負担の軽減に配慮して、勤務体制を薰無瑶、災害時の勤務シフトは柔軟に取り扱うこととする</p>
---

(10) 復旧対応

① 破損個所の確認

＜建物・設備の被害点検シート＞

対象		状況（いずれかに○）	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	エレベーター	利用可能／利用不可	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
室内	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	キャビネット	転倒あり／転倒なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	
	・・・		

② 業者連絡先一覧の整備

業者名	連絡先	業務内容
こども・生活ソーシャルサポートセンター		児童発達支援 保育所等訪問支援
ハーフアステップ Becoming		児童発達支援事業 放課後等デイサービス
Becoming 相談支援		一般相談・相談支援事業

③ 情報発信（関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応）

公表のタイミング・範囲・内容・方法についてあらかじめ方針を定めておく  
 風評被害を招く恐れもあるため、丁寧な対応や説明が必要となる  
 利用児及び職員のプライバシーにも配慮する

4. 他施設との連携

(1) 連携体制の構築

① 連携先との協議

※他、法人と連携を構築する予定なし

合同会社 Becoming 内の事業所で運営体制・連携の強化を図る

・人的支援 物的支援

合同会社 Becoming

・こども生活ソーシャルサポートセンターBecoming

・ハーフアステップ Becoming

・Becoming 相談支援

## ② 連携協定書の締結

地域との連携に関する協議が整えば、その証として連携協定書を締結し、写しを添付する。

※現在、連携協定を締結する予定なし

## ③地域のネットワーク等の構築・参画

### 【連携関係のある事業所】

業者名	連絡先	業務内容
こども・生活ソーシャルサポートセンター		児童発達支援 保育所等訪問支援
ハーフアステップ Becoming		児童発達支援事業 放課後等デイサービス
Becoming 相談支援		一般相談・相談支援事業

### 【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
帖佐こどもクリニック		
椎原眼科		

### 【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容

## (2) 連携対応

### ① 事前準備

合同会社 Becoming で情報を共有している。運営体制・連携の強化を図っていく

## ② 利用者情報の整理

--

## ③ 共同訓練

合同会社 Becoming での年 1 回の研修・訓練実施 各事業所での防災訓練 合同会社 Becoming で訓練報告
--

## 5. 地域との連携

### (1) 被災時の職員の派遣

(災害福祉支援ネットワークへの参画や災害派遣福祉チームへの職員登録)

地域の災害福祉支援ネットワークの協議内容等について確認し、災害派遣福祉チームのチーム員としての登録を検討する。

災害対策委員会で検討する
--------------

### (2) 福祉避難所の運営

#### ① 福祉避難所の指定

福祉避難所の指定を受けた場合は、自治体との協定書を添付するとともに、受入可能人数、受入場所、受入期間、受入条件など諸条件を整理して記載する。

社会福祉施設の公共性を鑑みれば、可能な限り福祉避難所の指定を受けることが望ましいが、仮に指定を受けない場合でも被災時に外部から要援護者や近隣住民等の受入の要望に沿うことができるよう上記のとおり諸条件を整理しておく。

災害対策委員会で検討する
--------------

#### ② 福祉避難所開設の事前準備

福祉避難所として運営できるように事前に必要な物資の確保や施設整備などを進める。

また、受入にあたっては支援人材の確保が重要であり、自施設の職員だけでなく、専門人材の支援が受けられるよう社会福祉協議会などの関係団体や支援団体等と支援体制について協議し、ボランティアの受入方針等について検討しておく。

災害対策委員系で検討する
--------------

## 6. 通所系・固有事項

### 【平時からの対応】

サービス提供中に被災した場合：

緊急連絡先や連絡手段（固定電話・携帯電話・メール等）を把握

※平常時から、地域の避難方法や避難場所に関する情報に留意し、地域の関係機関（行政・自治会・事業所団体等）と良好な関係を作るよう工夫する

### 【災害が予想される場合の対応】

台風などの甚大な被害が予想され場合などにおいては、

サービスの休止・縮小を余儀なくされることを想定し、あらかじめその基準を定めておくとともに、利用児や家族にも説明する

### 【災害発生時の対応】

・ サービス提供を長時間休止する場合は、必要に応じて、他事業所のサービス等への変更も検討する

・ 利用中に被災した場合は、利用児の安否確認後、あらかじめ把握している緊急連絡先を活用し、家族への安否状況の連絡を行う

・ 利用児の安全確保や家族への連絡状況を踏まえ、順次利用者の帰宅を支援する。

・ 帰宅に当たって可能な範囲で家族の協力を得る

・ 関係機関とも連携しながら事業所での宿泊や近くの避難所への移送等で対応する

## 7. 訪問系・固有事項

### 【平時からの対応】

各園・学校との共有

### 【災害が予想される場合の対応】

各園・学校の指示に従う

### 【災害発生時の対応】

各園・学校の指示に従う

## 8. 相談支援事業・固有事項

### 【平時からの対応】

※合同会社 Becoming の指示に同じ

【災害が予想される場合の対応】

※合同会社 Becoming の指示に同じ

【災害発生時の対応】

※合同会社 Becoming の指示に同じ

< 更新履歴 >

更新日	更新内容	更新者
2022年4月1日	自然災害発生時における業務継続計画作成	福田梨香
2024年4月1日	自然災害発生時における業務継続計画作成	福田梨香

【様式①】 備蓄品リスト

【飲料・食品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
飲料水				
ビスコ				
あめ				

【医薬品・衛生用品・日用品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
飲料水				
ビスコ				
あめ				

【備品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
カイロ				
新聞紙				
ビニール袋				
ガムテープ				
ビニール袋				
ポリタンク				
手回しライト				





【様式⑥】 建物・設備の被害点検シート

対象		状況（いずれかに○）	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	エレベーター	利用可能／利用不可	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
	・・・		
(フロア単位) 建物・設備	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	キャビネット	転倒あり／転倒なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	
	・・・		